繁藤地区大川祭り

８月７日、繁藤小・中学校グラウンドで、**繁藤地区大川祭り**が開催されました。これは、今年で１２１回目を迎える繁藤地区の夏祭りで、暑い夏を楽しく過ごそうと、多くの来場者が訪れました。

当日は、韮生太鼓の演奏やもち投げ、カラオケ大会、打ち上げ花火などで大いに盛り上がりました。

会場には、地元の人たちによる『うまいもの』を販売する模擬店が出店し、訪れた人たちは思い思いに夏の祭りを楽しんでいました。

本の祭典 図書館まつり

▲優しい語りで絵本の世界に引き込まれる子どもたち

８月７日、中央公民館で、**３館合同図書館まつりスペシャル**が開催されました。毎年恒例の図書館まつりですが、今年は香美市合併１０周年記念事業として、例年に増してさまざまな催しが行われました。

プラネタリウム上映や高知工科大学Space.Lab部による工作教室、読み聞かせコーナーなどが開かれ、募集していた図書館のマスコットキャラクター発表も行われました。

さおか夏祭り

８月１３日、佐岡コミュニティセンターで、**さおか夏祭り**が開催されました。これは、今年で４３回目を迎える佐岡地区の夏祭りで、地域の人たちが模擬店を出して開催するお祭りです。

当日は、バンド演奏やよさこい踊り、ベリーダンス、打ち上げ花火など、多くのイベントが行われました。開会のあいさつの後、餅拾いならぬ『お菓子拾い』と『おつまみ拾い』が行われ、大きな歓声が上がっていました。また、ステージイベントで行われたラムネ早飲み・ビール早飲みでは、炭酸に耐えながら一気に飲み干す姿に、来場者からは笑い声とともに大きな拍手が送られていました。

地域の夏を彩る手作りの夏祭りは、住民たちの憩いの場として、今年も大いに盛り上がりました。

◀お菓子拾いに熱中！歓声が響いた

こんな図書館にしてほしい！

７月１７日、中央公民館で、現在計画中の新図書館に向けての懇談会が開催されました。

懇談会には大人から子どもまで３９人が参加し、「本や郷土資料の充実をしてほしい」や「親子で利用しやすい図書館に」など、いろいろな意見が出されました。教育委員会では、このような懇談会を今後も開催し、市民の意見を取り入れた新図書館を目指します。

◀グループで意見を出し合った

アンパンマンミュージアム20周年を盛大にお祝い

７月２１日、香美市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアムの開館２０周年を祝うイベントが開催され、多くの親子連れらが詰めかけました。

アンパンマンミュージアムは平成８年にオープン。当初目標にしていた年間１０万人の入館者数をわずか４９日で突破、平成９年度の年間入館者数は２２万８千人に上り、高知県を代表する観光スポットとして定着しています。

当日は、式典の後、『ドリーミングとアンパンマンたちによるコンサート』が行われ、『アンパンマンのマーチ』や『勇気りんりん』など、おなじみの楽曲の数々が披露されました。会場を埋め尽くした観客らは、生で聴くドリーミングの歌声とアンパンマンキャラクターのダンスで大いに盛り上がり、アンパンマンミュージアムの開館２０周年を祝いました。

会場に入りきらないほどの観客が訪れ、衰え知らずの人気を示すとともに、展示替えや新たな企画展など、山里のミュージアムの今後さらなる進化に期待が膨らむ１日となりました。

▲大好きなアンパンマンキャラクターの登場に大きな歓声と拍手！

対話と実行 知事行脚

▲地域の実情をくみ取り、今後の県政に生かす

尾﨑正直県知事が、県内の各市町村を訪れて地域の声に直接耳を傾ける**対話と実行行脚**の中で、７月２６日、香美市を訪問しました。

これは平成２４年度から実施しており、１市町村を１日かけて回って、『対話と実行』の県政推進に欠かせない県民との率直な対話を重ねることを目的に行っているものです。当日は、龍河洞や吉井勇記念館、韮生の里美良布直販店、大宮小学校、大栃中学校、猪野々地区、佐岡地区などを視察し、意見交換を行いました。参加した市民らは、地域のＰＲや実情を尾﨑知事に直接伝えていました。

神母ノ木大川まつり

８月７日、神母ノ木の物部川緑地公園左岸で、**神母ノ木大川まつり**が開催されました。これは、１００年ほど前から続いている歴史ある地元のお祭りです。

当日は多くの夜店が軒を連ねて、ビアガーデンやカラオケ大会、打ち上げ花火などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。